

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
コミュニケーションII (プレゼンテーション)		1年・2年	後期	別途、時間割参照
Communication II				
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択		特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
国語の表現力を高めたいと考えている人には「国語表現Ⅰ～Ⅳ」の受講が望まれる。				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
さらに国語力を高めたいと考えている人には「コミュニケーションⅠ」の受講が望まれる。				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
大室 精一	みかも館2階	月火水木の9時～16時(授業時間除く)	授業中に指示します	
授業の概要				
①5分間のミニスピーチ(聴衆の前で一週間の印象深い体験を報告する。) ②テキストの学習(社会人として役立つプレゼンテーションの基本について講義する。) ③フリップ国語常識(社会人として必要な国語常識について勉強する。) ④漢字練習(プリント学習により常用漢字の「読み」「難読語」等を扱う。)				
②				
授業の目標				
①5分間のミニスピーチ(聴衆の前で効果的なスピーチの力を身に付けることができるようにする。) ②テキストの学習(ビジネスに必要なプレゼンテーションの基本を身に付けることができるようにする。) ③フリップ国語常識(社会人として必要な国語常識を身に付けることができるようにする。) ④漢字練習(社会人として必要な常用漢字の読み書きの力を身に付けることができるようにする。)				
授業の方法				
この授業の方法は、以下の3項目となる。 ①テキストによる講義も含めるが、演習形式(自己PR・ディスカッション等)を組み合わせる。 ②毎時間プリントによる学習であり、表面は「テキスト関連・国語常識」、裏面は「漢字練習」である。 ③プリントの最後に「本日の授業で考えたこと」を記入して学習内容のポイントを確認する。質問も同時に記入する。				
学習の成果(学習成果)				
この授業を履修すると、あなたは ①聴衆の前での効果的なスピーチ力を身に付けることができる。 ②ビジネスに必要なプレゼンテーションの基本を身に付けることができる。 ③社会人として必要な国語常識と漢字力を身に付けることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	講義ガイダンス(勉強の心構え・講義計画・プリント・課題・成績評価等について) プリント学習(漢字練習)			
第2回目	[5分間ミニスピーチ]	テキスト1章「1分の大切さを知る」「1分で問題提起」	漢字・国語常識	
第3回目	[5分間ミニスピーチ]	テキスト1章「話し方の問題点」「心の中にチェックシート」	漢字・国語常識	
第4回目	[5分間ミニスピーチ]	テキスト1章「聞き手にイメージを喚起」「文脈力を鍛える」	漢字・国語常識	
第5回目	[5分間ミニスピーチ]	テキスト2章「提案は短時間で話す」「一文で表現する」	漢字・国語常識	
第6回目	[5分間ミニスピーチ]	テキスト2章「デメリットを提示」「話のジャンル」	漢字・国語常識	

第7回目	[5分間ミニスピーチ]	テキスト2章「対話形式で話す」「1分をより濃密にする」	漢字・国語常識	
第8回目	[5分間ミニスピーチ]	テキスト3章「減点主義は通用しない」「褒め時間」	漢字・国語常識	
第9回目	[5分間ミニスピーチ]	テキスト3章「メッセージを伝える」「英語に学ぶ褒め言葉」	漢字・国語常識	
第10回目	[5分間ミニスピーチ]	テキスト3章「究極の励まし言葉」「締めの You can do it!」 課題「私の人生を変えた一冊の本」提出	漢字・国語常識	
第11回目	[5分間ミニスピーチ]	テキスト4章「ふさわしい謝り方とは」「再発防止の対策」	漢字・国語常識	
第12回目	[5分間ミニスピーチ]	テキスト4章「ゴールを提示」「質問は10秒が基本」	漢字・国語常識	
第13回目	[5分間ミニスピーチ]	テキスト4章「聞く側にも質問力」「相談力をつける」	漢字・国語常識	
第14回目	[5分間ミニスピーチ]	テキスト4章「段取りシート」「話のとっかかり」	確認テスト	
第15回目	[5分間ミニスピーチ]	テキスト4章「注意メモを活用」「打たれ弱い若者」	全体のまとめ	
成績評価の方法と基準				
評価の領域		割合	評価の基準	
授業参加態度		45%	毎時間プリントを配布し、授業後に回収して、授業への参加態度を記入状況により評価する。45点満点：毎時間のプリントを3点満点で評価(すべて記入なら優→3点、良→2点、可→1点)×15=15～45点	
レポート		15%	「私の人生を変えた一冊の本」の課題の、表現力と自己分析の深さを記入状況により評価する。15点満点：課題の提出点が10点、レポートの完成度により1～5点を加える。	
調査報告書				
小テスト				
試験		40%	大テーマによる論述問題(2問)で10点、授業全体から短答式の設問(15問)で30点の試験。40点満点：論述問題は記入してあれば5点、完成度により1～5点を加える。短答式は1問2点となる。	
発表内容(態度含む)				
その他				
教科書と参考図書				
教科書：『図解 1分で大切なことを伝える技術』(齊藤孝著・PHP・800円) 参考書・参考資料：授業担当者より適宜紹介するが購入の必要はない。				
履修上の留意点・ルール				
毎回の授業でプリントを配布し回収して添削・評価を行うので、欠席した場合には「オフィスアワー」を利用して補講を受ける。				